

殺虫剤

ディアナ® SC

スピネトラム…………… 11.7%

種類名／スピネトラム水和剤
農林水産省登録／第22910号（住友化学登録）
毒性／普通物*
有効年限／3年
包装／（100mℓ×10）×6

特 長

- 幅広い殺虫スペクトラムを示します。
チョウ目害虫はもちろん、アザミウマ目害虫・ハエ目害虫に対しても防除効果を発揮するので、幅広い害虫の防除が可能です。
- 速やかな食害抑制効果を示します。
チョウ目害虫に対して、速やかな摂食阻害活性を発揮するので、被害の拡大（進展）を抑制します。
- ハマキムシ類に優れた効果を示します。
各生育ステージ（卵・幼虫・成虫）に高い効果を示しますので、散布適期が広く使いやすい薬剤です。
- 収穫（茶は摘採）前日まで使用が可能です。（キャベツは、収穫前日もしくは育苗期後半、稲は収穫7日前、らっきょうは収穫前日もしくは植付前まで）

適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	イネツトムシ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	4000～ 6000倍	60～150 ℓ	収穫 7日前まで	本剤 スピネトラム剤 2回 3回 〔直播でののは種時 又は移植時までの 処理は1回、本 田では2回〕	散布
		32～ 48倍	0.8 ℓ			無人 航空機 散布
未 成 熟 とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 スピネトラム剤 2回 2回	散布
ト マ ト ミ ニ ト マ ト	コナジラミ類 チバクロバネキノコバエ	2500倍				
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ トマトキバガ オオタバコガ	2500～ 5000倍				
な す	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～ 5000倍				
ピーマン	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				

（つづく）

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
とうがらし類	アザミウマ類	2500倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	散布	
だ い こ ん	キスジノミハムシ						
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類 カブラハバチ ハモグリバエ類						
	は く さ い	アザミウマ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ					
ブロッコリー		アザミウマ類 コナガ シロイチモジヨトウ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ					
		アオムシ コナガ ハスモンヨトウ			48倍		1.6 ℓ
	96倍	3.2 ℓ					
キ ャ ベ ッ	アザミウマ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～300 ℓ		本剤 2回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理は 1回、定植後は2回〕	散布	
	アオムシ オオタバコガ	48倍	1.6～3.2 ℓ				
	コナガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	96倍	3.2 ℓ			無人 航空機 散布	
		アザミウマ類	50～ 200倍	セル成型育苗 トレイ1箱又は ペーパーポット 1冊(30×60cm・ 使用土壌約3～4 ℓ) 当り0.5 ℓ	育苗期後半	本剤 1回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理は 1回、定植後は2回〕	灌注
な ば な 類	アザミウマ類 ハモグリバエ類 コナガ ハスモンヨトウ ハクサイダニ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	散布	
か ぶ	コナガ ハスモンヨトウ アオムシ						

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
カリフラワー	コナガ アザミウマ類 アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理は 1回、定植後は2回〕	散布
非結球あぶらな 科葉菜類(こまつ な、チンゲンサイ、 なばな類を除く)	アザミウマ類 ハモグリバエ類 コナガ ハスモンヨトウ					
こ ま つ な	ハクサイダニ	2500倍				
	コナガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ アザミウマ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ	2500～ 5000倍				
チンゲンサイ	アザミウマ類 コナガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ					
と う が ん	アザミウマ類	2500倍				
	コナジラミ類					
メ ロ ン き ゆ う り	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ	2500～ 5000倍				
す い か	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ ウリノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				
か ぼ ち ゃ	ハスモンヨトウ					
た ま ね ぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ					
	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ	48倍	1.6～3.2 ℓ	無人 航空機 散布		
		96倍	3.2 ℓ			
葉 た ま ね ぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ			散布
ね ぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギコガ					
		アザミウマ類	48倍	1.6 ℓ	無人 航空機 散布	
		96倍	3.2 ℓ			

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
らっ き ょ う	ネダニ類	2500倍	—	植付前	本剤 1回 スピネトラム剤 3回 植付前までの処理は 1回、植付後は2回	30分間 種球浸漬
	アザミウマ類 ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 3回 植付前までの処理は 1回、植付後は2回	散布
に ん に く	アザミウマ類 ネギコガ					
に ら に ら（花 茎）	ネギコガ	2500倍				
し ゅ ん ぎ く	アザミウマ類 オオタバコガ ハクサイダニ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2500～ 5000倍				
	ハモグリバエ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ アザミウマ類					
レ タ ス 非結球レタス	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ					
セ ル リ ー	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ					
に ん じ ん	キアゲハ ハスモンヨトウ					
い ち ご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2500倍				
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類					
ほうれんそう	アザミウマ類 ハスモンヨトウ シロオビノメイガ ハクサイダニ ハモグリバエ類	2500～ 5000倍				
	ホウレンソウケナガコナダニ	2500倍				
つるむらさき	ハスモンヨトウ					
モ ロ ヘ イ ヤ	アザミウマ類	2500～ 5000倍				
ば れ い し ょ	ハスモンヨトウ					
さ と い も	ハスモンヨトウ セスジスズメ	32～ 40倍			0.8～1.6 ℓ	
か ん し ょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ ヒルガオハモグリガ		40～ 80倍	1.6 ℓ		
豆 類 (未成熟、但し、さや いんげんを除く) 豆 類 (種実、但し、だいず、 あずき、らっかせい を除く)	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2500～ 5000倍	100～300 ℓ		散布	

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
さやいんげん	アザミウマ類 ハモグリバエ類 アズキノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	散布
だ い ず	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類 マメシンクイガ					
あ す き	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類					
	アズキノメイガ	2500～ 7500倍				
アスパラガス	コナジラミ類	2500倍	100～500 ℓ			
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ジュウシホシクビナガハムシ	2500～ 5000倍				
食 用 ぎ く き く (葉)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	2500倍	100～300 ℓ			
食用ミニバラ	コナジラミ類					
なんてん(葉) しよくようほおすき	アザミウマ類					
	アザミウマ類					
て ん さ い	ヨトウムシ シロオビノメイガ					
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャトゲコナジラミ ニトベミノガ	2500～ 5000倍	200～400 ℓ	摘採 前日まで	本剤 1回 スピネトラム剤 1回	
みしまさいこ	ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 4回 [1年間に2回] スピネトラム剤 4回 [1年間に2回]	
花き類・観葉植物 (りんどうを除く)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ					
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類					
り ん ど う	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ リンドウホソハマキ					
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類					
わ た	アザミウマ類					
	オオタバコガ					
樹 木 類	ハマキムシ類	2500～ 5000倍	200～700 ℓ	発生初期	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	

■使用上の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。



- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。

- ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。



- 散布薬液の飛散によって自動車やカートの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■蚕 毒



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蚕に給餌しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。